

東大阪にネジ物流拠点

サンコーラインダストリー 来春に稼働

ネジ商社のサンコーラインダストリー(大阪市、奥山淑英社長)は東大阪市に物流拠点を新設する。

3億円強を投じ、2014年4月の稼働を目指す。物流拠点は8カ所目で、商品の保管能力は約

2割高まる見込み。既存の拠点の空きスペースも活用し、取扱商品を現在の約65万種から100万種にまで増やす考えだ。

倉庫を導入し、人手をかけずに効率よく商品を仕分けられるようとする。人力だけでは取り扱いが難しい段ボール単位の大口注文に対応する。

新拠点の建屋は1階建で、敷地面積は約1400平方メートル。5機の自動化装置や近畿自動車道が通じて、商品は6カ月間で約15万

種増え、14年度中にも100万種に達する可能性がある。新拠点の隣接地も買収済みで、業容拡大は多くても10万種といわれる品ぞろえを大幅に広げ、家電製品や建材など幅広い分野のネジを取り扱う。

り、交通インフラが整う東大阪市内に全ての物流拠点を集め。IT(情報技術)を駆使し、通常は多くても10万種といわれる品ぞろえを大幅に広げ、家電製品や建材など幅広い分野のネジを取り扱う。

YUASA M&B
満天の星空と青空のために

